

組織的な大学院教育改革推進プログラム事後評価結果

機関名	同志社大学	整理番号	A048
主たる研究科・専攻等名	社会学研究科社会福祉学専攻		
教育プログラム名	国際的「理論・実践循環型」教育システム		
取組実施代表者	埋橋 孝文		

組織的な大学院教育改革推進プログラム委員会における評価

<p>【総合評価】</p> <p> <input type="checkbox"/> 目的は十分に達成された <input checked="" type="checkbox"/> 目的はほぼ達成された <input type="checkbox"/> 目的はある程度達成された <input type="checkbox"/> 目的はあまり達成されていない </p>
<p>〔実施（達成）状況に関するコメント〕</p> <p>「国際的社会福祉学人材を養成する」という教育プログラムの目的に沿って、国際基準を踏まえた国際アドバイザー・コミッティの報告を受けてカリキュラム改正を行い、大学院生を海外に派遣するなど国際性を高め、ケース・カンファレンスやスーパーバイザー養成講座を通じて実践性を高めるなど、着実に大学院教育の改善・充実に貢献している。特に国際性・実践性の向上については、大学院生の海外活動を含めた活動量・報告量が大きく向上するなどの成果が得られている。国際連携を進めるための国際シンポジウムの開催や連携協定の締結も進められているが、福祉教育・研究支援センターの継続や新カリキュラムの実施が、具体的にどのような改善・充実につながるのか不明確であり、今後の取組について、更なる具体化が求められる。</p> <p>情報提供については、ホームページ、刊行物、ニュースレター、成果物の出版、韓国の2大学での英語報告などおおむね積極的に公表されている。留意事項については、大学院生支援、国際ネットワークの拡大の両面で、十分な対応がなされており、教育研究費についても、大学負担分も活用して、十分に効率的・効果的に使用されている。</p> <p>今後の方策については、社会福祉教育・研究支援センターが設置され、恒常的な活動が始まっており、卒業生による募金など、支援期間終了後の大学によるある程度の措置が示されているが、このことについては、一層の充実が期待される。</p> <p>また、海外の大学院と交流協定が新たに結ばれ、学術出版や国際シンポジウムが実現するなど、国際性・実践性を担う人材養成については一定の実績があり、大きな波及効果が期待されるが、これがどのように学位授与に寄与したのか明示が求められるとともに、博士学位授与率についてはさらなる向上策が求められる。</p>
<p>（優れた点）</p> <p>具体的な継続が見込まれる「国際アドバイザー・コミッティ」の設置、「社会福祉教育・研究支援センター」設置、アジアとの連携の強化などは、国際性豊かな社会福祉学担当者養成の優れた教育モデルとしておおむね評価される。</p> <p>（改善を要する点）</p> <p>5年一貫教育の実施及び博士前期課程、博士後期課程それぞれの大学院生の質の違いに即した教育改革、フィールドワーク実習の教育プログラムとしての実質化、本プログラムに沿った学位授与数の増加策については、さらなる具体化に向けた検討が望まれる。</p>